

父母教育後援会ホームページ 資料ライブラリー

立命館大学1日キャンパスで
配布予定であった資料をホームページでご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、全国47都道府県で例年開催していました「立命館大学1日キャンパス」は中止とさせていただきます。楽しみにしていた会員の皆様には大変残念な結果となってしまい、まことに申し訳ありません。

「立命館大学1日キャンパス」では、就職・資格取得・大学院進学・学生生活など、様々な説明会・ガイダンスを実施し、延べ5,000名の保護者の皆様にご参加いただいています。ホームページでは、そこで配布予定であった資料をPDFで公開しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページからダウンロードできます。



立命館大学1日キャンパス



<https://www.ritsumeifubo.com/events/conference/>



2020年度
臨時号

コロナ禍における
立命館の取り組み
— 学生の安心安全を最優先に —

父母教育後援会会報

臨時号

～発刊にあたって～

新型コロナウイルスの影響拡大により、
被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。
「緊急事態宣言」は解除されたものの、予断を許さない状況が続いています。
多大な影響を被っていらっしゃる学生・保護者の皆様には、
不安な状況が続いていることと思います。

このような状況に鑑み、立命館大学父母教育後援会では、
会報臨時号を発刊し、立命館大学の現状について、
学長をはじめ、教学部長、学生部長、キャリアセンター部長、国際部長からの
メッセージをお届けします。

Contents

P2 学長からのメッセージ

- P7 授業について
- P9 学生生活について
- P11 進路就職について
- P12 留学について
- P13 父母教育後援会・立命館学園の緊急支援
- P14 今後、出願可能な奨学金制度のご案内

Interview

学長からのメッセージ

立命館大学は今回のコロナ禍において、休講措置の決定やWeb授業の導入などの対応を進めてきました。どのようなプロセスで意思決定がされてきたのか、立命館大学の学長であり、立命館学園の総長でもある仲谷善雄先生にお話しいただきました。



学校法人立命館 総長
立命館大学 学長
仲谷 善雄

現状とこれからについて

学長からの
メッセージ

学生の安全安心を最優先に

新型コロナウイルス感染症の影響で「新しい生活様式」が求められる時代の中で、
大学としての真価が問われています。

立命館大学は現在の状況をどのように捉え、どう対応するのか、
立命館大学の学長である仲谷善雄先生にお話しいただきました。

Q. コロナ禍における立命館大学の動きを 教えてください

未曾有の事態への対応

この度、父母教育後援会の会報臨時号の発刊にあたり、メッセージをお届けする機会をいただきありがとうございます。

立命館大学では、1月中旬より医師である保健センター所長を含む感染症対策委員会において状況を把握し、留学プログラムの実施可否、海外から帰国する学生の対応、アルコール消毒液の設置などの対応を開始しました。苦渋の決断ではありましたが、2月下旬には感染拡大防止の観点から卒業式・入学式の中止を決定するとともにホームページにて学長メッセージを発信いたしました。事態の重大さに鑑み、3月初旬には法人危機対策本部を設置して対応にあたりました。学生の生命を守ることを最優先としつつ教育を継続するために、春学期の授業形態を見直し、4月6日からWeb授業を実施することいたしました。政府の「緊急事態宣言」発令を受け、キャンパスへの入構を禁止したことによる休講や課外自主活動の自粛など、制約の多い状況が続いていますが、懸命に学び続ける学生を大学として全力で支援しています。

今こそ立命館大学の知を結集して

まず今回のコロナ禍で思い知らされたのは、私たちが前提としている社会や日常が、実は薄氷の上に成り立っているもので、当たり前ものではなかったということだと思います。しかし、実は社会にはこのような大小様々なリスクが内包されていて、それを社会のシステムとして織り込み済みにおこなったことでより大きな課題が生じたのではないかと考えています。今回のコロナ禍をきっかけに社会のあり方を見直し、そのなかで私たちはどう生きべきなのかを考える必要があります。これは立命館大学という組織としても、学問と研究をする機関としても、突きつけられた大きな課題だと思います。16学部・21研究科を擁する立命館大学の研究の厚み、知の蓄積を発揮して、今こそ新しい社会のあり方を提言していく役割が求められていると考えています。これは個々の教員や学部単位ではなく、立命館大学として、立命館学園として、組織的に取り組んでいく課題であると思っています。



Q. 大学としてどのような対応を 進めてきたのですか

学生の生命・安全・健康を守る

新型コロナウイルス感染症は急激なスピードで世界中に拡散し、日本でも3月下旬以降の感染者急増を受け、政府が全国を対象に「緊急事態宣言」を発令するに至りました。世界全体に感染がおよび、地球規模で取り組むべきこの危機を乗り越えていくために、生命・安全・健康を守ることを第一としたうえで、大学は、教育と研究を継続するという社会的責任を、今こそ発揮するべきだと考えています。この考え方のもと、「新型コロナウイルス感染拡大に対する立命館大学の行動指針(BCP)」(下表)を策定しました。これは社会の動きと連動しながら独自の活動制限レベルを6段階で設定したものです。キャンパスが京都府・滋賀県・大阪府と3つの府県に分かれています。そこに通う学生はさらに広域から集まっていますので、レベルに応じて立命館大学全体として対応を決定してきました。

安心安全を最優先したうえで教育と研究を継続する、立命館大学で学ぶ学生を全力で支援するということを軸に様々な議論してきました。

Web授業の導入と同時にその学習環境の整備に必要な支援、仕送りやアルバイトができないことによる生活の困窮などに対する緊急支援として総額25億円の支援策を全学で一致して迅速に判断できたのは、大学、教職員がその意味を深く理解しているからこそだと思っています。父母教育後援会からは、早々に14,000本もの体温計を下宿生に寄贈いただき感謝申し上げます。また、学生への緊急支援には、校友(卒業生)や教職員から多くの寄付も集まっています。立命館の一体感を誇りに思うとともに、大学を代表して御礼申し上げます。

また、学生と教職員の安全を最優先に考え、キャンパスへの入構制限など感染拡大防止に取り組む一方で、最大限の教育研究活動を維持するため、「3密」の徹底回避を前提に、制限する範囲をコントロールしていくことも常に議論してきました。組織的かつ臨機応変に判断し、行動に移してきた立命館大学の姿勢は、社会からも評価いただいています。保護者の皆様にもぜひご理解いただきたいと思っています。

■新型コロナウイルス感染拡大に対する立命館大学の行動指針(BCP)

活動制限レベル	主な制限の内容
0	制限なし
1	制限一最小 感染拡大に注意して、ほぼ通常通りの活動を行う。
2	制限一小 感染拡大に最大限注意し、Web授業、オンライン会議などを推奨。「3密」を避ける工夫をする。
3	制限一中 「3密」を徹底して避けることを前提に、原則Web授業のみ、イベントや入構には厳しい制限あり。
4	制限一大 原則Web授業のみ、キャンパスへの入構は原則禁止。
5	制限一最大 原則停止。Web授業、オンライン会議などのみ。

※詳細は立命館大学Webサイトで公開しています。http://www.ritsume.ac.jp/



Q. 教育活動はどのように行われてきたのですか

Web授業の導入と環境整備

特に立命館大学がWeb授業の導入を早期に判断できたのは、以前から立命館学園全体でICT技術を活用した次世代教育のあり方を議論してきたからです。Web授業実施に向けては、学生の皆さん一人ひとりの情報環境を整えてもらうために、一律3万円の支給やパソコン・ルーター等の無償貸し出しなど、Web授業のための受講環境整備支援策を実施しました。また、すべての教員がWeb授業に慣れているわけではありませんでしたので、相当な準備を要しました。学生の皆さんも、新しい授業のあり方を生み出すという重要な課題に当事者として参画することになったわけですから、「新しい生活様式」を見据えた「立命館モデル」の教育の実現に向けて、前向きに、そして柔軟にこの状況に対応してほしいと思っています。

並行して、Web授業においても学生の意見や質問に積極的に対応できるようシステムと運用を整備しました。教員からの報告の中には「学生からの質疑応答の数が増えた」「質問の質も上がった」という意見もあり、双方向性を担保した授業の新しい可能性を感じています。また、Web授業は距離を越えて、海外と双方向性のやり取りができるというメリットがあります。グローバル教養学部の提携校であるオーストラリア国立大学(ANU)からは、本学の素早いWeb授業導入の意思決定、教育研究機関としてその歩みを止めないという姿勢に対して、「協定を結んでよかった」と高い評価をいただきました。

Q. 国際化の歩みはどのようなのでしょうか

グローバル化の歩みは止めない

今回の新型コロナウイルス感染症は世界規模で影響が拡大した

ため、国境を越えた人の往来ができない状態となりました。海外留学や世界との交流を夢見て入学した学生たちが、今とても辛い思いをしていることを考えると胸が張り裂けそうな思いです。しかしながら、グローバル化を推進してきた立命館大学は、これからもその歩みを止めるつもりはありません。今回のコロナ禍で私たちは世界の一角であることを痛みとともに実感しました。グローバル化の本質は日常生活のなかに世界を感じ、そのなかで自分は何ができるのかを考え、行動することだと思います。国連が「持続可能な開発目標(SDGs)」で示したように、私たちは今こそ共通の目標のもと、手を取り合って新たなグローバル化の道を進むべきだと考えています。もちろん、今後の状況によって、国境を越えて学生が行き来できるようになれば良いのですが、現実問題として海外渡航に制限がかかっている現状においては、今、何ができるか模索しているところです。

今できることから

「緊急事態宣言」が発令されて間もない4月上旬に、学生たちの「今できることを始めたい」という声を受けて「立命館 Beyond COVID-19」というオンラインの試みが始まりました。これは立命館学園の小学生から大学生、大学院生までが、この時代を乗り越えるためのアイデアを自由に提案するという取り組みで、立命館大学もこれを全面的に支援しています。開始からわずか1カ月半で54のプロジェクトがオンラインで立ち上がり、クラウドファンディングなどを活用した外部からの支援も取り入れながら学生・生徒・児童が主体となって行動を起こしています。また、「未来のBeyond Borders 応援サイト」では、学生生活をイメージするためのメッセージを多数の校友からいただいています。校友を含めた本学園のつながりはたいへん心強く、感謝しています。できないことを数えるより、今、自分ができることを考え、行動に移すことが大切です。「学園ビジョンR2030」の「挑戦をもっと自由に」というスローガンを共有し、行動していきたいと思っています。

新型コロナウイルス禍での取り組み



未来のBeyond Borders 応援サイト

新入生に向けて、立命館大学での学生生活を少しでもイメージしてもらえたらと、立命館大学は「STORY Beyond Borders 一挑戦者の物語」を企画しました。この制作には、「学生たちにメッセージを届けたい」と、校友がご協力くださいました。何事も行動にうつせないもどかしい日々ですが、この状況が収束した先にある「大学生活」に役立つ、先輩たちのストーリーを紹介しています。

STORY

Beyond Borders

一挑戦者の物語

随時更新中!



各メッセージはこちらから視聴できます

STORY #01

アメリカ留学を決意
TOEIC®380点
からの出発

林俊之介さん
(16スポンサー)



STORY #02

法学部で、邦楽部
尺八との出会いが
人生を変えた

大萩康喜さん
(10法)



STORY #03

メイド・イン・
ベトナムが、
世界を変える。

タ・ソン・トゥンさん
(11構理)



STORY #04

夢を叶えて、
アナウンサーに

稲葉千秋さん
(15文)



STORY #05

『箸』一筋

山崎彰悟さん
(13法)



STORY #06

ラオスの
子どもたちの笑顔が、
夢を明確にしてくれた

今日和さん
(20国関)



Beyond COVID-19

Supported by RIMIX

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、外出自粛となっている情勢を受けて、オンラインコミュニティ「Beyond COVID-19」(ビヨンド・コロナ)を立ち上げました。一緒に学ぶ講座やプロジェクトを立命館の教職員・学生・生徒から広く募集し、その講座やプロジェクトへ自由に参加したり、それらの立ち上げやサポートを担ったりすることができます。講座やプロジェクトは、既に大学から提供されているオンライン講座などのほか、学生などが立ち上げたものを本特設サイトに掲載します。

今できることを、はじめよう。

Beyond COVID-19



<https://r-rimix.com/covid19/>



Q. 学生の進路はどのようなのでしょうか

ひとりで悩まず相談を

保護者の皆様が最もご心配なのは、お子様の将来の進路に関することだと思います。まずは冒頭に申し上げた通り、社会には大小様々なリスクが潜在しており、今回のような事態はいつの時代にも起こり得るという認識を持つておくことが教訓の一つだと思います。また、先行きの見えない状況に不安を感じることはやむを得ないことですが、こういう時こそ落ち着いて、正しい情報のもと自ら考え適切な行動を取ることが大切です。そして、その主体性は結果として社会からも高く評価されることにもつながっていくと思います。Web授業に積極的に参加して、自分の意見を明確に発信するという経験は、今後定着していくと思われるテレワークにおいても役立つ経験の一つとなるでしょう。キャリア・ディベロップメントに近道はなく、どのような状況下においても自分が今、学生としてすべ

きことにしっかり取り組み、力を高めていくことが大切です。学生の皆さんには自分は何のために大学に入ったのかを見つめ直し、今、自分がすべきことをしっかりと考えて行動してほしいと思います。

立命館大学・立命館学園は組織全体として今回の危機的状況に対応し、十分な議論をしながらも適切と思われる対応をできる限り迅速に実行に移しています。学生の立場にたつて、誰一人取り残さない覚悟で教職員一同が全力で学生の支援に取り組んでいます。その点においてはどうか私達を信用し、信頼していただきたいと思います。保護者の皆様におかれましては、「with/after コロナ」の教育のあり方についてご忌憚のないご意見をお聞かせください。私たちはその声に全力でお応えできるよう努力を惜しまないことをお約束します。

授業について

教学部長からの メッセージ



立命館大学
教学部長
森岡 真史
(国際関係学部 教授)

Webを活用した授業と受講環境支援

立命館大学では、学生の安全安心を最優先に考え、春学期の授業をWeb(インターネット)を活用して実施しています。以下では、その経過と現状についてご説明申し上げます。

新入生向けのオリエンテーションは、3月31日から4月5日にかけて、本学での履修の開始に最低限必要な企画に限定したうえで、登下校において密集が生じないよう開始・終了時間を学部ごとにずらすなどの措置をとって、キャンパス内で実施しました。続いて、4月6日から、Web授業を開始しましたが、4月7日に政府により「緊急事態宣言」が発令されたことを受けて、4月8日から5月6日までの一斉休講を判断いたしました。

授業の再開に向けて、5月6日までの期間に、大学は、まず、学生の皆さんに自宅・下宿で授業を受けるためのパソコンや通信環境などの準備をお願いするとともに、それらの準備が困難な学生を対象として、4月22日にパソコンと無線LANルーターを無料で貸し出す窓口を設けました(4月27日から5月19日までにノートパソコンと無線ルーターのセットを386セット貸し出し、無線LANルーターのみを166台貸し出し)。

加えて、4月27日には、立命館学園としての「新型コロナウイルス禍に対する学びの緊急支援」の一環として、自宅・下宿でWeb授業を受講できる環境を整えることに関わる諸費用を支援するため、学部と大学院をあわせた全学生約36,000名に3万円を給付することを決定・実施しました。「学びの緊急支援」は、立命館学園で学ぶ全ての学生・生徒・児童を対象とする総額25億円の支援策です。

連休明けには、緊急事態宣言下における学生生活やWeb授業をサポートするため、学習・学生生活にかかわる事項を分類し、情報や回答をわかりやすく掲示する総合的な支援サイトを開設しました(<https://academic.support.ritsumei.ac.jp/hc/ja>)。さらに、Web授業実施のかなめとなるラーニング・マネジメント・システム「manaba+R」(Web上で教材の配布や課題の提出を行うシステム)について、多数の学生が同時にアクセスしても安定的に稼働するよう、機能を大幅に増強しました。5月の授業再開以降、支援サイトは多数の学生に利用され、「manaba+R」も不具合なく作動しています。

授業再開後の状況

Web授業の再開に先立ち、大学では、感染拡大防止の観点から、春学期の授業は、実験・実習など一部の科目を除いて、学期の終わりまで全てWeb授業の形で行うことを決定しています。定期試験に替えて、成績は日常の授業の中での取り組み、課題の提出、レポートなどにもとづいて評価することとし、学習の質を保証します。5月7日から再開されたWeb授業は、今のところ、おおむね順調に進行しています。

Web授業には、大きく分けて、ZoomなどのWeb会議システムを使ってリアルタイムで配信する方式と、教員があらかじめ作成した動画・画像・音声教材などを学生が自由に時間を選んで学習する方式があります。どちらの方式でも、質問への回答や課題へのフィードバックを通じて、教員と学生がコミュニケーションをとれるようにしています。

教員は、Web授業においても、対面授業とかわらない内容の教育を提供し、授業を受ける学生の皆さんが科目の到達目標を達成できるよう、授業の準備と運営に全力を尽くしています。春学期開始前の時期から現在まで、大学全体で、また個々の学部で、Web授業にかかわる研修や経験交流の企画が多数開催されています。学生の皆さんにとってはもちろん、ほとんどの教員にとっても、インターネットを通じての授業は開始したばかりであり、うまくいくことだけではありません。しかし、試行を繰り返し、相互の経験を交流しな

Web授業の現状と課題

大学では、Web授業の現状を把握するため、学生と教員を対象に、5月19日から6月3日にかけてアンケートを実施しました。学生・教員ともに関心が高く、学生の約4割(14,332名、大学院生を含む)、教員のほぼ半数(1,020名)から回答がありました。

Web授業についての学生の満足度は、肯定的な回答が約6割を占める一方で、一部の授業において教員との質疑応答などの課題が見られました。まだWeb授業への対応に慣れない学生がいたり、通常よりも課題や小テストが多くなったことを負担に感じる学生もいるようでした。これらの結果からは、教員と学生の双方が、試行を伴いながらも熱心に授業に取り組んでいる姿が見えてきます。教員向けアンケートの回答でも、「学生はWeb授業の特性を活かして復

がら、教員一人ひとりが自分なりのWeb授業のスタイルを確立しようと努力しているのが現在の状況です。学生の皆さんも、当初の戸惑いを克服して、徐々にWeb授業に適応しつつあります。

対面授業につきまして、「小・中・高では授業を再開しているのに大学ではなぜ再開できないのか」、というお問い合わせもいただいています。大学では学生それぞれが自分の時間割を組むため、小・中・高のように、学校全体で時間割を調整したり、時差登校するなどの感染抑制措置を取ることが難しいという点があります。また、小・中・高に比べ、学生数が約36,000名と多いため、休憩時間や昼食時の「3密」が避けられないこと、公共交通手段を利用して遠方から通学する学生も多く、登下校時の感染リスクが高いことも対面授業の開始を難しいものとしています。

しかし、6月下旬からは学生の入構禁止措置を緩和し、事前申込制で図書館や情報教室など大学施設の利用を再開しました。7月下旬には、実験・実習など大学の施設を利用する必要性のある一部の科目について、感染防止に十分な配慮を行ったうえで、教室での授業を実施いたします。秋学期には新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況にもよりますが、Web授業を一部継続しながらも、基本的には対面授業を再開する方向で検討を進めています。この点については、決定次第改めてHPでお知らせします。

習や課題提出に非常に積極的に取り組んでいる」といった声が多くありました。

このアンケートはWeb授業の再開後すぐ(授業回数では第3～第5回にあたる期間)に実施されたものです。授業が進むにつれて、教員も学生もWeb授業に慣れてきていますので、学生の受け止めは今後変わるものと思われませんが、大学ではアンケートの分析を通じて、Web授業の積極的な成果と改善すべき課題についてすべての学部で認識を共有しながら、Web授業の質の向上と授業内外での学生の学習支援に取り組んでいく所存です。保護者の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



学生生活について

学生部長からの メッセージ

一人ひとりの学生生活が、
充実したものになるように。

立命館大学
学生部長
河原 典史
(文学部 教授)

■ 相談内容に応じて窓口を設置 まずは学生オフィスまで

立命館大学の経済的な支援としては、Web授業のための受講環境整備支援策として、すべての学生に一律3万円の支給を実施しました。また、通信環境のない学生にはパソコンやルーターなどの無償貸出を実施し、Web授業に参加できないという相談は現時点では届いておりません。また、仕送りやアルバイト就労ができないことによって生活が困難となる学生に対して、最大9万円(月額3万円×3カ月)を決定・募集を行い、3,796名に支給しました。その他、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)や民間財団などによる経済支援についても学生オフィスで相談を受け付け、教職員も全力で学生の支援に取り組んでいます。

また、学生の精神面での不安や悩みに対しては、学生オフィスの学生サポートルーム(学生相談室)で受け付けています。例年なら多くの学生が相談に訪れているのですが、キャンパスへの入構制限がかかっている間は来室しての相談ができませんので、メール(o-go-1@st.ritsumei.ac.jp)で相談の申し込みを受け付けていま

す。また、ホームページには「コロナ禍でのからだどころのメンテナンス方法」など様々なアドバイスを発信していますので、ぜひ学生サポートルームのホームページ(<http://www.ritsumei.ac.jp/ssr/>)にもアクセスしてください。

■ 学生による支援も充実 新入生に活用してほしい

立命館大学の大きな特色として、学生同士が主体的に学び合い、支え合う「ピア・サポート」という支援があります。正課と課外を通じた自律と成長をサポートする窓口として、SSP(Student Success Program)という学生支援があります。自立支援と成長支援という2つの視点から、職員コーディネーターとともに、SSPピア・サポーターと呼ばれる学生が、学生生活を充実させるための取り組みを実施しています。コロナ禍でキャンパスに通えない時期でも、オンラインで履修登録のアドバイスや大学での学び方のライブ相談会などを実施していますので、ぜひ積極的に活用してほしいと思います。

また、一人暮らしの学生にとって強い味方となるのがオリター等の存在で、学生生活にスムーズになじめるように先輩学生が様々な面で新入生を支援しています。現状では例年のようにキャンパスで対面による支援はできていませんが、学生が自主的にオンラインでの新入生支援企画を実施するなどして、後輩たちの支援に取り組んでいます。

このように、大学による支援や学生同士による支援が活発に行われ、相談内容に応じて様々な窓口が用意されています。困っている学生を支援することはもちろんのこと、一人ひとりが充実した学生生活を送れるように全力で支援していきます。どうか保護者の皆様には学生を温かい目で見守っていただけたら幸いです。

■ SSP 大学の学びサポートページ

<http://www.ritsumei.ac.jp/students/ssp/support>

※RAINBOWへのログインが必要です。

■ 課外自主活動団体が より成長することを願って

立命館大学は課外自主活動が非常に活発な大学として知られています。例年なら春になると新入生歓迎の催しが開催され、キャンパスは活気にあふれていました。それが新型コロナウイルス感染症の拡大により、課外自主活動を実施するどころか、キャンパスに入構することすらできなくなり、学生たちはさぞ辛い思いをしていたことと思います。このような中、学生自治組織である学友会から、新入生のために何かしたいという声が上がリ、「クラブ・サークルWeb交流会」としてオンラインで新入生勧誘活動を実施しました。いま、自分たちにできることを考え、自発的に行動に移すところがいかに立命館大学の学生らしさであり、私たち教職員も学生たちの想いに全力で応えようと支援した結果、Web上で延べ5,100名もの学生が参加した一大オリエンテーションイベントとなりました。また、SNSなどで新入生の反応をみると、「いろいろなクラブ・サークルに入りたい」「もっとたくさんの学生と交流したい」と非常に好評だったようです。

実際の課外自主活動については、政府による「緊急事態宣言」の発令以来、長らく自粛が続いてきました。学生からは活動をしたという声が多く、私たち教職員としても活動再開を応援してあげたい気持ちが強いのですが、安全面を考慮すると無制限に許可

するというわけにはいきません。そこで保健センターの所長にも助言をいただき、段階的な緩和措置として感染拡大防止の取り組みが十分に実施できると認められた団体に限り、順次活動再開を認めるという方針を決めました。「3密」を避ける、マスクを着用する、声援やハイタッチの禁止など、各団体の活動内容に応じて学生が自分たちで感染拡大防止のルールを設定し、教職員と面談して部員一人ひとりに浸透しているかどうかを判断しています。学生部には約400の課外自主活動団体が登録されていますが、6月上旬時点では112団体から活動再開の申請を受けています。学生たちは不自由な思いをしていますが、こういう時だからこそ社会が求める規範を遵守し、立命館大学の学生の模範となるような行動を示すようになることで、課外自主活動団体がより成熟した組織として成長してくれることを切に願っています。

どこへ相談すればいいのかわからない時は…

■ 窓口・連絡先

衣笠キャンパス 学生オフィス 研心館2F
TEL:075-465-8174 mail:sns-k@st.ritsumei.ac.jp

BKCキャンパス(びわこ・くさつ) 学生オフィス セントラルアーク1F
TEL:077-561-3951 mail:sns-b@st.ritsumei.ac.jp

OICキャンパス(大阪いばらぎ) 学生オフィス A棟東(AS事務室)1F
TEL:072-665-2130 mail:sns-oic@st.ritsumei.ac.jp

■ 立命館大学の施設等の状況

・保健センター

感染症対策を徹底のうえ、通常どおり開室しています。診療日程は少なくなっていますので、詳細はこちらからご確認ください。

立命館保健センターHP

<http://www.ritsumei.ac.jp/health/>

・図書館

事前の予約により入館することが可能です。事前予約および利用できるサービス等の詳細はこちらからご確認ください。

立命館大学図書館HP

<http://www.ritsumei.ac.jp/lib/>

・食堂

店舗を限定して営業を再開しています。営業店舗・営業時間は、こちらからご確認ください。

立命館生活協同組合HP

<https://www.ritsco-op.jp/>

進路就職について

キャリアセンター部長からの メッセージ



立命館大学
キャリアセンター 部長
紀國 洋
(経済学部 教授)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、今年度に卒業予定の学生の皆さんの就職活動におきましても企業等の選考活動の延期が相次ぎました。また、これまで対面式で行われていた会社説明会や面接等でもWeb型を取り入れるなど、企業の採用手法にも多くの変化が見られました。キャリアセンターでは、就職活動をするうえで役に立つ「特設サイト」をWeb上にいち早く立ち上げ、オンライン相談や電話相談、メールでのエントリーシート添削支援、学生同士やキャリアセンタースタッフとの交流の場「オンライントークルーム」を設けるなど、就職活動に関する悩みや不安を解消できるよう支援を展開してきました。6月中旬からはWeb企業説明会を実施するなど、今後も学生の皆さんと企業とのマッチング支援も展開していきます。

情勢の変化があっても、1～3回生の学生の皆さんにおいては、希望する進路を実現するためには、学生生活の充実が何よりも重要です。卒業時のアンケートでは、学生生活が「とても充実していた」・「充実していた」と答えた学生の約9割が、「とても納得のいく進路」実現ができたと回答しました。一方、学生生活が全く充実していなかったと答えた学生については、卒業後の進路に納得していないと答えた割合が多くなっています。所属する学部での学びを柱とした学生生活の充実が大切であることに変わりはありません。学生の皆さんは、自分が大学に入学した目的や取り組んできたこと、今後取り組みたいことをしっかり考えてみてほしいと思います。キャリアセンターは、卒業生をはじめ第一線で活躍されている方々をお招きしての講演など、進路を考えるうえで参考になる多彩な支援を今後も提供していきます。それらも活用し、自分の将来を考える一助としていただければと思います。

保護者の皆様におかれましては、お子様の将来や就職活動に対するご心配もおありかと存じます。悩みも様々かと思いますが、身近なアドバイザーとして寄り添い、良き相談相手となっていただきますと幸いです。

本学は、「学生一人ひとりの希望する進路の実現」に一丸となって取り組んでいます。ぜひ経験豊富なキャリアセンターをご活用ください。今年度は残念ながら、全国で開催しておりました「立命館大学1日キャンパス」は中止となりましたが、毎年会場でお配りしておりました「PLACEMENT DATA」の2020年度版は、会報夏号(9月発行)に同封してお届けできる予定です。本学の進路・就職実績だけでなく、キャリアセンターの取り組み等も記載しておりますので、そちらもご一読いただきましたら幸いです。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

留学について

国際部長からの メッセージ



立命館大学
国際部長
中川 涼司
(国際関係学部 教授)

立命館大学はSGU(Super Global University)にも認定され、長期派遣者数で全国1位になるなど、留学は派遣・受入とも全国の先頭に立ってまいりましたが、生命の危機回避に勝るものはなく活動を制限する措置を取らざるを得ないところとなっています。

立命館大学ではWeb授業を中心に教育を行っていますが、図書館利用や情報教室利用などにおいて新型コロナウイルスの感染拡大に十分な配慮を行いつつ、教育研究に必要な利用を行う工夫を凝らしています。

立命館大学国際部としては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、新規留学派遣の中止、国外留学中の学生・院生の帰国措置、短期留学生の新規受入中止などの措置を行ってきました。当該の学生・院生の保護者の皆様におかれましては、ご負担ご心配をおかけし、留学に期待を寄せていた学生の皆さんにはたいへん残念な状況となっていますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

留学派遣を補完する取り組みとして、一部の緊急帰国者へのオンライン講義の継続や、共同学位プログラムに対するWeb授業を提供しています。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止には十分配慮したうえで、正規留学生を受け入れているとともに(※)、昨年度から継続履修している短期留学生も在籍しており、オンラインの形ではありますが、日本出身学生と留学生の交流も進めています。また、入出国制限が緩和されて以降の派遣・受入の再開にむけて、学生のモチベーションを高める企画などを行い、オンラインを利用した新たなプログラム開発にも取り組む予定です。

第2波、第3波も予想され、なかなか先を見通せない状況ではありますが、置かれた状況の中でなんとか国際教育・国際交流を進めてまいりたいと考えております。保護者の皆様におかれましては、さらなるご理解ご支援のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

※入国制限がかかり、渡日できていない留学生も少なからず存在しますが、Web授業を提供しています。

父母教育後援会の緊急支援

下宿生を対象に体温計14,000個を配布

父母教育後援会では保健センターを受診した学生の医療費補助を行っていますが、体調不良を訴えて診察に来る学生の多くが、その時にはじめて体温を計っている現状がありました。このような状況を鑑み、学生自らが体調管理を行い、適切な時期に医療機関を受診してもらえるよう、体温計の無料配布を実施しました。

※確保できる体温計の数に限りがありましたので、今回の無料配布は下宿生を対象としました。

立命館学園が実施した緊急支援

Web授業の実施にあたり、学校法人立命館が設置する大学・学校で学ぶ学生・生徒・児童全員を対象に総額25億円の緊急支援策を実施しました。

■支援概要

(1) Web授業のための受講環境整備支援策(16億円程度)

本学園で学ぶすべての学生・生徒・児童の全員に対して

一律3万円支給

- ・本学園で学ぶすべての学生・生徒・児童の全員に対して、一律3万円を支給します。
- ・緊急的にWebを活用した授業実施となることに伴う学生・生徒・児童の各家庭における学習・通信環境整備への負担軽減のための支援策です。
- ・必要な方に対してPC、ルーター等を無償で貸し出します。なお、数には限りがあります。

※お振込口座申請期限は9月25日(金)です。お済みでない方はお手続きください。

(お手続き方法)

5月29日に学費案内文送付先住所へ、振込口座を入力いただくためのご案内ハガキを送付しています。外国籍の学生の方については、同様の案内を5月29日にメールしています。そちらをご覧ください。

○お問い合わせ:立命館大学オンライン授業受講環境整備支援金事務局
075-813-8845 (9:30~17:00 土日祝を除く)

(2) 家計急変等経済支援策(5億円程度):立命館大学 緊急学生支援金

アルバイト就労ができなくなる、家計急変により学生生活が困難となる学生に対して

9万円(月額3万円×3カ月)支給

・アルバイト収入の減少や、家計急変による仕送り額の減少により、生活に困窮する学生の皆さんへの経済支援制度です。

6月16日(火)で募集は終了しました。

コロナ禍の影響や国による公的な支援の状況をみながら、今後の立命館大学独自の支援策について検討を進めています。

(3) オンラインを活用した学習・生活・諸活動支援策(4億円程度)

- ・外出自粛の大きな制約下の状況においても、学生・生徒・児童の学習・生活・諸活動を継続するための支援策です。
- ・学生・生徒・児童の学習・生活面を含めたオンラインサポート体制を整備します。
- ・オンラインを活用した多様な学び(就職活動支援、資格や語学講座受講支援などを含む)のプログラム提供やコミュニティ支援を進めます。

【今後、出願可能な奨学金制度のご案内】

1 日本学生支援機構給付奨学金および立命館大学学費減免

2020年度より、『日本学生支援機構給付奨学金』と国による授業料等減免制度と本学の独自制度を包括した『立命館大学学費減免』の制度が始まりました。支援対象は、非課税世帯およびそれに準ずる世帯となります。年2回の募集があり、次回は秋に募集予定です。詳細は、本学奨学金Webをご参照ください。

2 日本学生支援機構 奨学金(家計急変向け)

家計急変の事由により出願できる制度です。貸与奨学金、事由によっては給付奨学金への出願が可能です。詳細は、本学奨学金Webを参照ください。

3 立命館大学 利子助成金

新型コロナウイルス感染症の影響により、教育ローンの借入が必要となった家庭に対して、在学中の利子相当額を大学が助成する制度です。

募集締切:2020年8月31日(月) 郵送必着

○上記、経済支援型奨学金の詳細はこちらをご確認ください。その他の奨学金や教育ローン等についても随時情報を更新しています。

<http://www.ritsumei.ac.jp/scholarship/economic.html/>

(「立命館 奨学金」で検索)

○お問い合わせ:各キャンパスの学生オフィス奨学金係

衣笠 075-465-8168 BKC 077-561-2854 OIC 072-665-2135

■春学期授業料の納付期日の延長

2020年度春学期授業料については、6月1日(月)を納付期日としてご案内していましたが、新型コロナウイルスによる在学学生への影響を考慮して、納付期日を7月31日(金)まで延長させていただきます。

※延長の適用に関わる手続きは不要です。

※当初の期日(6月1日)を過ぎた場合も、すでに送付しております納付書はお使いいただけます。

○授業料の納付についてのお問い合わせ:財務経理課 075-813-8164(9:00~17:30 土日祝を除く)

■立命館大学の現状について

「新型コロナウイルス感染拡大に対する立命館大学の行動指針(BCP)」による活動制限レベル

「レベル2(制限一小)」

(2020年6月22日~当面の間)

感染拡大に最大限注意して、外出自粛、イベント開催制限、施設の使用制限の要請などを段階的に緩和します。感染拡大傾向が見られた場合や政府・自治体等による要請が発出された場合は、すみやかにレベルの引き上げを判断し、各種の制限を行う場合がありますので、ご注意ください。また、春学期中はWeb授業を継続します。

最新情報については

ホームページでご確認ください。

立命館大学 新型コロナウイルス感染症に関する特設ページ

<http://www.ritsumei.ac.jp/news/detail/?id=1679>